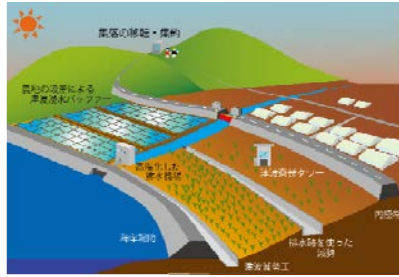


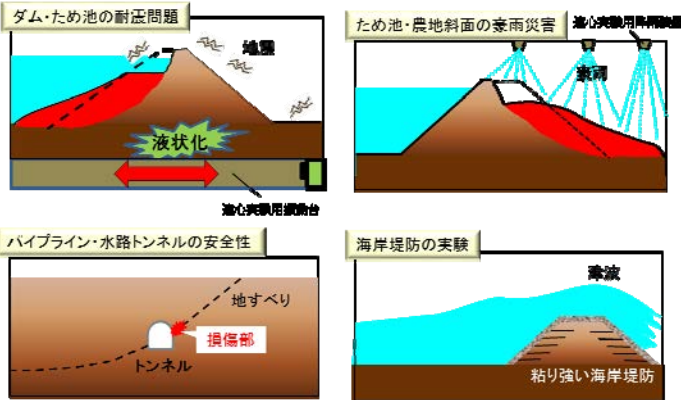
沿岸域減災研究棟における研究

- ▶ 津波襲来後の背後地の流動現象と被災機構の解明
- ▶ 沿岸部農業地域へ浸水した津波を効果的に減勢するための農地、農道などの配置計画手法の開発
- ▶ 津波浸水後の排水や除塩に有効な排水施設計画手法の開発



農研機構が描く地域減災システム

施設減災研究棟における研究



案内図



災害に強い 農村づくり を目指して

農村減災技術研究センター



アクセスガイド

①公共交通機関でお越しの場合

最寄駅1 : JR常磐線「牛久駅」
牛久駅西口から関東鉄道バス「谷田部車庫／筑波大学病院行き」乗車→「農工研前」下車(約25分)

最寄駅2 : つくばエクスプレス「みどりの駅」
みどりの駅から関東鉄道バス「農林団地循環行き」乗車→「農工研前」下車(約13分)

②お車でお越しの場合

常磐自動車道「谷田部I.C.」より約5km
圏央道「つくば牛久I.C.」より約4Km

問い合わせ

〒305-8609
茨城県つくば市観音台2丁目1-6
国立研究開発法人
農業・食品産業技術総合研究機構
農村工学研究所
TEL 029-838-7504(業務推進室)
FAX 029-838-7609
URL <http://www.naro.affrc.go.jp/nkk/>



国立研究開発法人
農業・食品産業技術総合研究機構
農村工学研究所

災害に強い農村づくりを目指して

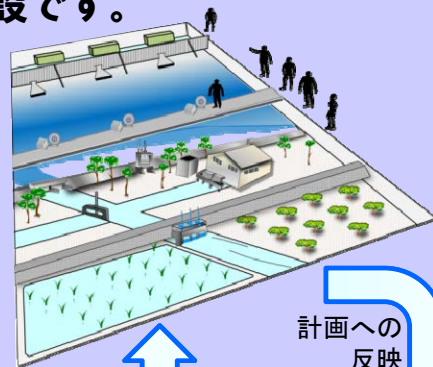
災害に強い農村づくりには、農村インフラにおける防災・減災機能の強化が必要です。農村減災技術研究センターでは、非常に強い地震や豪雨、津波などに対応する技術の開発を目指して研究を進めます。

研究成果は、対策が急がれる沿岸域の減災計画策定への活用、その際の防災計画担当者や地域住民等の防災意識向上と合意形成への貢献、ため池・ダム・パイプライン・水路トンネル・海岸堤防などの耐震・豪雨対策などの技術開発に繋がります。

沿岸域減災研究棟

津波などによる浸水被害の再現や農地などを活用した減災効果を検証する研究施設です。

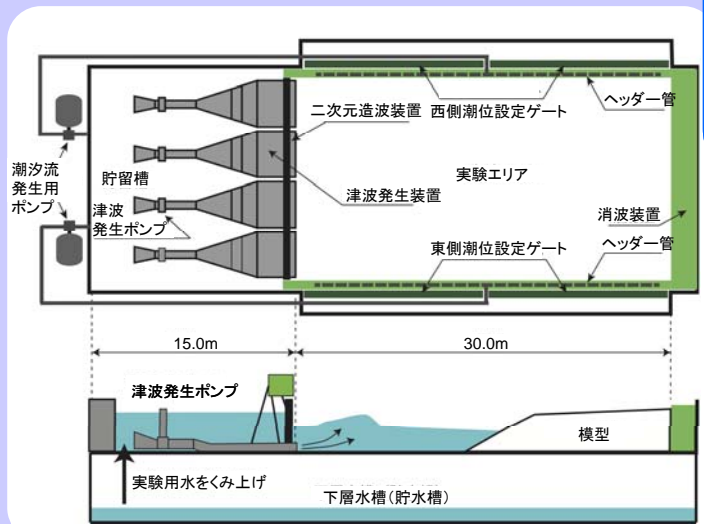
観測や数値解析で得られた津波などによる水面変動を忠実に再現できる他、波浪や潮汐流を複合させ、沿岸域で生じる災害時の状況を評価します。



模型実験で減災効果の検証と解析パラメータの設定

計画への反映

沿岸域の減災計画



施設減災研究棟

ため池・ダム等の構造物の地震時の挙動を再現することができる研究施設です。

遠心力を載荷することによって、1/100スケールの小さい模型で実際の大さの構造物の挙動を再現することができます。

